

[省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）]

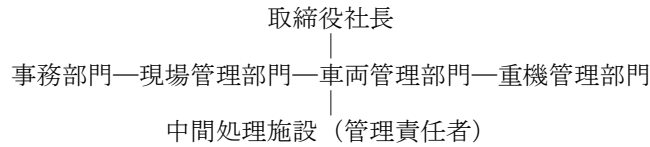
様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 21 日	
(宛先) 長野市長 荻原 健司 殿	
提出者	
住 所 新潟県妙高市大字飛田1208番地	
氏 名 有限会社 日本環境	
取締役 丸山昭彦	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0255-73-7752	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	有限会社日本環境 長野営業所
事業場の所在地	長野県長野市穂保715-1番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	20,000,000円
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	・がれき類→自社にて破砕処理→再生砕石として再資源化 ・廃プラスチック類→自社にて圧縮梱包処理→処理業者に処理委託 ・木くず→自社にて破砕処理（チップ）→熱回収業者へ処理委託（焼却・バイオマス発電） ・木くず（柱材）→再生処理業者へ処理委託（有償） ・ガラス・陶磁器くず→自社にて破砕処理→処理業者に処理委託（再生又は埋立）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	木くず	
	排 出 量	76.93t	171.00t	3,659.70t	38.56t	710.52t	
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(これまでに実施した取組)						
・分別解体によるリサイクル活動 ・中間処理施設における破砕処理による廃棄物の資源化、減量化 ・熱回収業者への処分委託による廃棄物の資源化、減量化 ・再生利用業者への処分委託による廃棄物の資源化、減量化							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	木くず	0
	排 出 量	70.00t	150.00t	3,000.00t	30.00t	700.00t	
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	排 出 量						
	(今後実施する予定の取組)						
・分別解体によるリサイクル活動 ・中間処理施設における破砕処理による廃棄物の資源化、減量化 ・熱回収業者、再生利用業者への処理委託拡大により再生利用の増を図る。 ・有価物の拡大							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、がれき類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、廃プラスチック、金属くず等に分類 ・分別した産業廃棄物を中間処理し資源化、減量化を図っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別解体の徹底を図り、産業廃棄物の資源化、減量化を図る。 ・自社の中間処理施設における中間処理で廃棄物の資源化、減量化を図る。 ・柱材、金属くずなど有価物の拡大を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	木くず	0
	自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量	0.00t		200.00t			
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	自ら再生利用を行っ た産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) ・ 中間処理による再生活動 ・ 再生利用業者への処理委託						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	木くず	0
	自ら再生利用を行 う産業廃棄物の量			300.00t		100.00t	
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	自ら再生利用を行 う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) ・ 再生品を利用業者へ販売 ・ 再生利用ができる工事の受注 ・ 解体工事後の現場などで再生利用できるよう取り組む。						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	木くず	0
	自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の量						
	自ら中間処理によ り減量した産業 廃棄物の量			80.00t			
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	木くず	0
	自ら熱回収を行 う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理によ り減量する産業 廃棄物の量			100.00t			
	産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
	自ら熱回収を行 う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) ・ 中間処理後、処理業者に委託処理 ・ 破碎処理による鉄くずとの分別と規格の適正化							

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード含)	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ)	石綿含有産業廃 棄物	木くず	0
全処理委託量	70.00t	150.00t	2,600.00t	30.00t	600.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量			2,600.00t		200.00t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量					400.00t	
産業廃棄物の種類	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者へ処理委託量						

(今後実施する予定の取組)

- ・木くず・・・熱回収業者への処理委託（焼却、バイオマス発電）
柱材は有価物として処理委託
- ・廃プラスチック。ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
・・・処理業者又は再生利用業者へ処理委託

②計画

※事務処理欄

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項			産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）											合 計
			廃プラスチック（廃タイヤ、発泡スチロール等）	ガラス・コンクリート・陶磁器等	がれき類（コンクリがら、廃アスファルト等）	石綿含有産業廃棄物	木くず	0	0	0	0	0	0	
排出抑制に関する事項	前年度排出量（実績）		76.93t	171.00t	3,659.70t	38.56t	710.52t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	4,656.71t
	本年度排出量（計画）		70.00t	150.00t	3,000.00t	30.00t	700.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,950.00t
自ら行う（行った）再生利用に関する事項	前年度実績		0.00t	0.00t	200.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	200.00t
	本年度計画（目標）		0.00t	0.00t	300.00t	0.00t	100.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	400.00t
自ら行う（行った）中間処理に関する事項	自ら行う（行った）熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量する（した）量	前年度実績	0.00t	0.00t	80.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	80.00t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	100.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	100.00t
自ら行う（行った）埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	本年度計画（目標）		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	76.93t	171.00t	3,379.70t	38.56t	710.52t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	4,376.71t
		本年度計画（目標）	70.00t	150.00t	2,600.00t	30.00t	600.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,450.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	3,379.70t	0.00t	246.24t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	3,625.94t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	2,600.00t	0.00t	200.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	2,800.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	464.28t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	464.28t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	400.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	400.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。